カイニョ倶楽部会報　第 33 号

平成１６年１０月発行　発行者　砺波カイニョ倶楽部　代表幹事　柏樹直樹
事務局　富山県砺波市表町 14-10　電話　0763－33－6588　　天野一男建築工房内

「庄川と生きる」で例会

～炎天下・会員 19 名参加～

7 月 3 日（晴）カイニョ倶楽部の例会として「庄川と生きる」をテーマに、庄川町の合口ダムから河口までを巡り、水とカイニョの関わりを見てまわりました。炎天下、19 名の会員と子どもが参加しました。

見学箇所は・・・

①合口ダム－②松川除（まつがいけ）－③利賀川工水利用工事現場（安川地内）－④大田橋左岸からの散居遠望－⑤東保五社神社の社叢－⑥庄川沿岸漁業組合の施設（大門町）－⑦射水平野西部排水機場（新湊市）－⑧庄川河口

一日かけて庄川を中心とした水と木と人の関係を見聞できた楽しい集いでした。各箇所で地元や関係者の案内を受け、良い勉強会にもなりました。

(写真　まつがいけの堤防の上で)

(写真　東保五社神社の樹叢)

トピックス

☆1　屋敷林の資源発生量調べとその活用を探る仕事 －カイニョ倶楽部・一部を手伝う－

カイニョ倶楽部が県の屋敷林有機資源の活用のための調査事業の一部を手伝いすることになり、たくさんの会員の協力で屋敷林調査を実施しました。今後、追跡調査を来年 7 月まで継続します。

8 月中に調査対象プロット 5 戸の屋敷林内容の実態調査（敷地建物、植生）を 5 日間、会員、延べ 45 名が参加し行いました。

この後、毎月有機資源（落葉）発生量を 5 戸の家を尋ね確認する仕事が続き、分担して調査に出向くことにしています。5 戸は砺波市 2 戸、福野町、井波町、

(写真　樹木調査　砺波市内)

(写真　敷地の調査　砺波市内)

城端町各 1 戸を抽出してあります。

☆2　散居村ミュージアムについて考える会が発足

8 月 3 日（火）の夜、砺波市体育館の小会議室で「ミュージアムと散居につ

いて考える会」が開かれました。集会には 20 名が参加。散居を守ることの苦労や意義、施設の建設と運営などについて意見が交わされました。

屋敷林のある家で展覧会

～子ども達、林　清納先生の講評に感銘～

カイニョ倶楽部主催で、9 月 17 日（金）砺波南部小学校前の山崎昌作さん宅（鹿島）広間を教室に、夏休み中に描いた屋敷林の写生展をして、洋画家林　清納先生の講評をいただく集いを開きました。

作品は、一学期から屋敷林の勉強を取り入れている砺波南部小学校 4 年生 30 名の力作。林先生は、画家になる道のりとそのきっかけが 4 年生の時の絵であり、自らの思い出を重ねながら、30 名の作品にあったかく一人一人に丁寧に感想や注意などを説明され、約 2 時間の授業を子ども達は真剣に聞き入りました。

林清納先生のお話の流れ

美術大学を出て、高校の美術の先生になったが、画家を目指すために 10 年あまりで辞めた。絵を描くことのきっかけは小学 4 年生の時の絵が入賞してからで、その時から画家を目指した。中学生で黒田信一先生（88 歳でお元気）に砺波高校で川辺外治先生（故人）に出会い、一層、その意を堅くし、美術学校に入った。30 歳近くで将来何になるかを決めるため、パリに 1 年間留学し、本物に触れる勉強をし、そこで、画家を決意した。吉田　実知事（故人）に世話になり、現在に至った。

（写真　広間での林先生の講評）

4 年生の時の夢を実現させた人生を振り返り、皆さんのみずみずしい絵を見ると元気がもらえる、とりわけ屋敷林の写生は必ず思い出として残り、これからの時代を考える上で大事なテーマになる。

このあと、先生が各人の作品について講評されました。先ず、絵の「苦労した点、何を描こうとしたのか、自分でその絵をどう思うか」を一人一人に尋ね、林先生はそれぞれの画面をとらえながら、細かく説明されました。その講評の一部を紹介すると・・・

○瓦の色をどう出すか、絵具の黒ではないはずだ。
○木の太さや歴史をうまく現している。
○蔵の壁の白が強すぎる。
○小さい木や花も加えること。
○空の区分がおもしろい。
○近い木は、土に逃がすと力強い
○木の表現がおもしろい。
○楽しみの感ずる風景だ。
○絵具とクレヨンの組合せもよい。
○造形的な描写も大事。
○画面の配置も考えよう。
○木の空間をいろんな色で詰め込むと立体的になる。
○描きたいところを強調すること。
○細かさと大胆さの組合せがよい。
○淡い色でまとめた屋敷林表現がよい。

など、各人の個性を引き出し、良い点を褒め、補うところを親切に説明され、子ども達は大きくうなづき聞き入りました。

最後にカイニョ倶楽部から青島史恵さんにお土産のノートを代表して受け取ってもらい、林先生にみんなで感謝の拍手をして終わりました。

この集いには、南部小学校長と藤田先生、カイニョ倶楽部から 5 名が参加し、手伝いました。また、県の方や新聞社の参加もありました。

山崎昌作さん宅は、南から西面に屋敷林のある家で広間にも西からの風が時々吹き込みました。